

令和4年度 第5回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和4年8月8日(月)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 野村 宏治
午後2時00分 ↓	教育委員 田原 正人	学校教育課長 今井 誠
午後3時20分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 港 耕作
水之上小学校図書室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長 米田 昭嗣
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

- 1 開 会
定刻、定足数に達しており、令和4年度第5回教育委員会定例会を開会した。
- 2 令和4年度第4回定例会会議録の承認について
承認
- 3 議 事
議案第15号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について

報告第21号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

報告第22号 令和4年度 垂水市地区公民館館長の任命について
- 4 その他
- 5 委員並びに教育長及び課長報告
- 6 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第15号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について</p>	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし 構築地方創生</p>	<p>承 認</p>
<p>報告第21号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第22号 令和4年度 垂水市地区公民館館長の任命について</p>	<p>令和4年度 垂水市地区公民館長の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

議 事 内 容 等

<p>3 議 事</p>	<p>議案第15号 垂水市教育委員会の事務の点検・評価について</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成するものであること及びその内容について説明。</p> <p>教育委員会委員の活動状況に対する、外部評価委員の評価・意見及び教育総務課の自己点検・評価票についての説明、それに対する外部評価委員の意見・評価の説明。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育課の自己点検・評価票についての説明、それに対する外部評価委員の意見・評価の説明。</p>

社会教育課長	社会教育課の自己点検・評価票についての説明、それに対する外部評価委員の意見・評価の説明。
国体推進課長	国体推進課の自己点検・評価票についての説明、それに対する外部評価委員の意見・評価の説明。
教育長	外部評価を含めてご意見があればお伺いしたい。
田原委員	外部評価委員の意見にもあったが、コロナ禍の中で入学式、卒業式に3年間出席できておらず、子供たちの人生の節目に立ち会えていない。4人の委員のうち1人でも出席できたらと思う。私達も出席したい気持ちでいっぱいである。GIGAスクールに対しての心配事というところで、GIGAスクールとSNSとは直接関係はないが、そういったところに発展することもあるので、そこを心配しての発言だろう。SNSは親も教師も見えない部分があるから、そこを注意してくださいとGIGAに引っかけて書いてあると思う。PTAの方々がルールをつくってくださっている訳だが、学校と家庭との連携を密にしながら、もう一度しっかり確認していくことが必要なのではないかと受け止めたところである。
教育長	タブレットとSNSの関係性だが、垂水の場合はタブレットの持ち帰りを前提としているので、見えないところで子供たちがSNSを使って色々なところと繋がっているのではないかとという心配がある。そういう意味でも学校と家庭が連携してルールづくりを徹底すべきである。あくまでもタブレットは勉強道具なので文房具だということを子供たちにも徹底させ、また指導し、保護者の方にも十分理解の上で使ってもらうことが大事だと思う。非常にSNSは便利だが、一方では怖い世界である。これはスマホも一緒であるが、そういうところに足を踏み入れて子供たちが犯罪に巻き込まれることがあってはならない。子供たちは、そういうところには決していかないと自分を律することができないといけない。
学校教育課長	タブレットの使い方については、自分が将来的にはどのような使い方をしていくのかがいいかを児童生徒が学ぶ機会にしていきたい。これはダメ、あれもダメでは、全く自立心が育たない。自分で考える事に繋がらない。教師も保護者もあるいは地域の方も、まず心配が先に立ってしまいがちだが、その考えを少しずつ払拭していかないといけない。これからの世の中は、タブレット、スマホなしでは考えられない。ただし、やはりそこには犯罪が起こる危険性があることを認識しておく必要がある。そこを子供たちがしっかり自覚して、これは危ない、これはしてはいけないというところを、皆で考えながらしっかりGIGAを前に進めていかななくてはならないと思うので、学校に対してもしっかり指導していきたい。
教育長	GIGAスクールは、決していい面ばかりじゃなく、課題も抱えている。それを克服しながら、いかにして前へ前へ進めていくかを考えている。

田之上委員	子供たちと直に接することができずに、子供たちに対する親しみという面で、少し距離感をもってしまうような気がしている。せめて、子供たちの姿を何らかの形で見ておくことで、実際に子供たちと接したときにお話ができたりするのは非常にいいことだと思う。昔、ゆとり教育時代の子供たちが成長した時に、学力が低いと言われたみたいに、コロナ禍で育った子供たちが、学力が低いとか体力がないとか言われるのは可哀想だ。だからできる限りのことをして対応していただきたいと思う。私達は、子供たちを見守って応援することで何かできたらいいなと思っている。
教育長	子供たちが不利益を被らないで欲しいというメッセージと受け取りました。
学校教育課長	今、知・徳・体と言われているが、垂水はそれに食を加えて、知育、徳育、体育、食育を推奨している。学校は、保護者、地域の方々の協力をいただきながら全職員で子供たちを見守っているところである。
福里委員	G I G Aスクール構想も2年目を迎えている。うちの二人の子供たちも1年目は凄く喜んでいて、触ることにに関して、こんなこともできるんだよとか兄妹で色々話をしたりしていたが、最近は少し落ち着いてきた。しかし、それなりにトラブルはある。カメラで人の画像を撮り、それを見て笑ったりとか。中学生になるとスマホを持っているので、中学校では携帯電話のトラブルが多い。小学校は中学校に比べて、あまりタブレットの持ち帰りが無い。保護者もあまり理解が進んでいるとは思えない。小学校は尚更であるが中学校でも、取り扱いについてはかなり細かな事まで徹底して指導しないとトラブルになってしまう。学校でも生徒に指導していると思うが、そこが守られていないところを保護者は心配している。
学校教育課長	その指導が徹底できるのは、小規模校である。大きな学校に比べて小規模校の方がG I G Aは推奨しやすい。
教育長	親の理解を深めていかないと、なかなか軌道に乗りにくい。何の為にルール・マナーが在るのかという点をしっかり保護者も理解し、子供たちも守ることの必要性を理解していないと、相手を傷つけてしまう。また、自分も傷ついてしまうこともある。
葛迫委員	コロナの影響で、いろいろな学校行事等も制限を受けており、行事に参加できていないが、何か手立てはないのか。体育祭や卒業式等をビデオで撮って定例教育委員会で見るとかできればいいと思う。
教育長	色々なことが制限される中で、直接、見る方法がなかなか難しいとなると、パッと思いつくのがオンラインである。オンラインで卒業式、入学式等間接的な参加になってしまうが、そういう事ができるのではないかと思う。
学校教育課長	実際に中央中などは体育大会の様子をビデオで撮って発信している。そ

	ういうことは、実際の取り組みとしてやれることなので、是非発信していきたい。
葛迫委員	コロナが今3年目だが、まだあと10年続くかもしれないので、これからはコロナと共存することを考えていかないといけないと思う。
教育長	折角、本市はG I G Aスクールを進めているので、色々な方法を模索しながら、どうすれば子供たちの活動する元気な姿を、地域の皆さんにもお届けできるかということを工夫していきたいと思う。
教育長	次に教育総務課では、垂水高等学校振興対策関係。垂水高校の入学者が25人、22人ときて、今年は31人まで回復し、来年は40人を目指して努力している。
葛迫委員	社会教育関係であるが、吹奏楽とか綱引き大会を使って、垂水高校に対して何かできないものか。
国体推進課長	11月13日の綱引き大会に、垂水高校生に参加してもらうために、広報活動をやっていきたい。
葛迫委員	ウェートリフティングもそうだったが、いつもその時だけで、何か後に残るもの、受け継いでいけるものを作ってほしい。フェンシングはお金が掛かるが、綱引きはお金も掛からないし、垂水には持って来いのイベントではないかと思う。
国体推進課長	フェンシングの町垂水として、国体終了後もスポーツチャンバラ等も含め、啓発活動を続けていきたい。
葛迫委員	綱引きも振興会単位でチームをつくらないと機運が盛り上がらないのでは。それが、垂水高校の女子チームに発展していくのではないか。下部組織ができていないと、何も発展していかないのではないかと思う。
教育長	全てはボトムアップの話だと思う。 (議案第15号 承認)
教育総務課長	報告第21号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。 (質疑なし)

	<p>報告第 22 号 令和 4 年度 垂水市地区公民館館長の任命について</p>
社会教育課長	令和 4 年度 垂水市地区公民館館長の任命について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。
教育長	協和地区の館長の進捗状況は。
社会教育課長	この前、ある人に打診したが断られた。また、次をあたります。
教育長	館長がいない中での公民館活動は大丈夫か。
社会教育課長	主事さんが頑張っておられます。どうしてもという場合は、自分が館長なので役割を果たします。
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
田原委員	<p>「7/14 (木) 市SOSの出し方教育授業 (水之上小学校) について」</p> <p>水之上小学校 6 年生の授業を参観させてもらった。宮城県からやってきたご主人がスウェーデン人、鹿屋市出身のお寿司が大好きという講師の先生にまず興味を持った。子供たちのどんな不安や疑問もどんと受け止めてあげるよといった優しさとオーラを持った方であった。メモも取らなかったもので、心に残ったことを断片的に述べてみたい。</p> <p>先生の指示した二つのワークがとてもよかった。まず一つは、「手の指の絵に書き込ませた 5 つの言葉」である。先生はこれを、「心が落ち込んだとき時、元気になる魔法の言葉だよ。」と言われた。書き込んだ言葉は、自分の名前、好きな食べ物、大切な人・もの等、児童各々が書き込んだ言葉である。</p> <p>もう一つは、グループで行ったその人のよい面だけを言ってあげる他己紹介である。グループのある女子児童を他の児童たちが「かわいい」、「やさしい」、「笑顔がいい」などとその人のよい面をどんどん挙げていったとき、言われた女子児童は照れながらも思わず笑顔になっていた。他の児童の時も、言われた児童は必ず笑顔になった。そこで先生は、「いい面を言われたり、褒められたりするとやっぱりうれしいよね。皆、笑顔になったよね。」と話された。ところが日常生活の場面、例えば家庭では、相手のよい面を言っているのでしょうか。得てして相手の悪いところばかり指摘しているようなことが多い気がします。学校や家庭でも相手のよい面を言葉にして言ってあげましょう。そうすれば皆が笑顔になれるよと教えてくださった。思わず納得の一場面であった。最後に先生は、「失敗してもいいんだよ。必ず立ち直れる。心が痛いと感じたら重くならないうちに助け</p>

を求めなさい。大人に相談しなさい。3人は相談しなさい。必ず支えてくれる大人がいます。」と話された。この授業を通して、子供の悩みにしっかり向き合える大人でありたいと思った。また、小学生のこの時期に、「助けを求めていい。身近な大人に相談しなさい。」という教えは、子供たちの今後に大きな支えとなるのではないかと思った。

7/25（月）自治会館での市町村教育委員会委員研修会について

この委員研修会の最後のコマであった特別支援教育の研究協議について、60分の時間設定のうち40分近くが、特別支援教育室からの特別支援教育の推進状況の説明で、残りの20分くらいが自由討論であった。

特別支援教育は、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室で行われているが、それぞれ充実が図られ、特にこの4～5年で特別支援学級が学級数、在籍数ともに急激に増えている。また、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒も増えている。それだけ個に応じた多様な学びの場が設定されているということであろう。また、福祉と教育行政の連携が図られ、幼児期からの早期発見によって適切な教育の場の選択へと繋がっているであろう。今回の協議で話題に上がっていたのは、学級数が増えたことで、対応できる専門的な資格を持った教員が確保できないこと、特別支援教育の経験のない先生方が担当していること、離島ではWISC-IVを活用したいが検査資格者がいないなどの基本的な問題から、持ち寄ったレポートの中には、特別支援学級の指導過程に児童生徒一人一人に応じた教科等の学習の他に自立活動の時間が位置付けられ実践されているか等の本質に迫る課題もあった。かねて深く触れたことのない領域だったのでいい勉強になった。それにしても垂水市の特別支援学級の子供たちが自在にタブレットを使いこなす授業は、すごいと思う。

葛迫委員

夏休みに入り、鹿児島県内の美術館では様々な展覧会が開催されています。新型コロナウイルス感染症拡大のため、臨時休館やイベントが中止となったところもありますが、鹿児島市立美術館では、フランス近代絵画の「シダネルとマンタン展」～光と色彩の詩情～が、7月15日から8月31日まで開催されています。

7月15日のオープニングセレモニーに参加しましたのでご報告します。いつものようにオープニングミニコンサートは行われました。開場式は、普段であれば多くの招待者で賑わうのですが、かねての半分ぐらいの人数でした。これまでのオープニングには、山下小学校の子供たちも参加してくれていたのですが、ここ3年ほどコロナの影響で参加できていません。そのせいか、何故か寂しいオープニングセレモニーでした。

後日、もう一度美術館に足を運んでみたのですが、夏休みということもあり鹿児島市内の小・中学生、高校生、専門学校生、大学生など、多くの学生が観に来ていました。学生が鉛筆とメモ帳を持って作品の前に立ち、作品の内容や時代背景など、事小まめにメモをとる姿を見ることができ、大変嬉しく思うことでした。久しぶりにこのような姿を見たような気がします。

また、展覧会の期間中はワークショップや記念講演会、そして作品説明会なども予定されています。鹿児島市以外の子供たちにも、是非この期間中に美術館へ足を運んでほしいと思います。また、美術館だけでなく、博物館や歴史資料センター、水族館、動物園、大きな図書館といった公共施設も様々な企画で子供たちを待っていると思います。大隅半島でも夏休み向けの様々な催し物が開かれています。霧島アートの森では、見たこともない聞いたこともない空間を体験してほしいとした「植松奎二展」が開催されています。また、松下美術館では、第37回南九州水墨画展が開催されています。是非、子供たちはこの機会に足を運んで夏休みの新しい発見をしてほしいと思います。

田之上委員

「7/14 SOSの出し方教育授業・研修（垂水小学校）」

「自分と相手を大切にするために」と題して、高橋聡美さんの6年2組の授業を参観させていただきました。彼女の親しみやすい語り口に子供たちも引き込まれて、多くの意見が出ていました。他己紹介（いいことだけを紹介する）では、他の人から言われたいい事に、照れながらもとても嬉しそうにする様子が見られました。先生からの、「心の傷は言わないと見えなから、言ってみてください。心の傷も手当てをすればよくなるので大人に相談してください。」の呼び掛けに、私達周りにはいる大人は、SOSのサインを見逃さないように、また、普段からワクワク言葉をたくさん使うようにしようと改めて思うことでした。

「市町村教育委員会委員研修会に参加して」

授業スタイルが大きく変化しつつあり、学校、家庭、地域が協力して社会に出ていく子供たちに、〈自分に足りない力を学んでいく力〉をつけて送り出すことは大変なことであろう。また、働き方改革が言われる中であって、授業改革、問題行動や支援を必要とする子の対応など、更に先生方の大変さを感じる一方で、子供たちの一番近くにいる先生が夢を持って働く姿を子供に見せてほしいと思っているところです。最後の「特別支援教育の推進について」では、本県の現状について説明がありました。協議は短い時間ではありましたが、活発な意見や要望、実践例などが出されました。久しぶりの研修で学ぶことの多い有意義な研修会でした。

「垂水児童クラブ」

コロナ禍で迎えた3回目の夏休みも、垂水児童クラブの子供たちは毎日元気に過ごしています。連日、40～45人程の利用があり、賑やかな毎日ですが、手洗い、消毒、換気、マスクの繰り返しです。今年は、小プールを数年ぶりに使わせて頂くことができ、子供たちは大喜びでしたが、支援員はドキドキでした。

福里委員

「市町村教育委員会委員研修会に参加して」

8月25日、市町村教育委員会委員研修会に参加しました。その中で、特別支援教育の推進と現状、課題、今後の方向性などの話がありました。

特別支援教育もいろいろ進んできて手厚くなってきているようであるが、課題も多いようである。早めに対処するために各市町村でもいろいろな取組を行っているようであるが課題も多いということであった。その中で、五歳児健診を今年度から行う市町村もあるようである。垂水市も小学校就学に向けて是非五歳児健診を行ってほしいと思います。

教育長

私からは、G I G Aスクールをメインとした夏期合同研修会のことと、I C T支援について、今村指導主事を大阪に派遣した効果みたいなことをお話ししようと思ったのですが、時間がございませんので。今から、また今村指導主事がここに来てG I G Aについて発表しますので、内容はそれでご理解いただけたらと思います。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長
国体推進課長

時間の関係上、7月12日から8月8日までの主な行事等報告、併せて、8月9日から9月8日までの行事予定については、後もって各自で別紙を参照してくださるようお願いした。

6 閉 会